

「グラント解剖学図譜」

Grant's Atlas of Anatomy, 6th ed. <日本版>

J. C. Boileau Grant 著

森田 茂 東京慈恵会医科大学教授
楠 豊和 横浜市立大学教授

訳

北里大学教授

寺 田 春 水

グラントの「解剖学図譜」といえば, J. C. B. Grant の有名な3部作, すなわち図譜(An Atlas of Anatomy), 教科書(Method of Anatomy)および実習書(Dissector)の核心をなす名著である。ドイツ系の解剖図譜と比べてはるかに実用向きにできており, それはアメリカの医学生の9割以上がグラントの図譜を用いて解剖学実習を行なっていることでもわかる。実習の順序に従った局所的な配列をとりながら, 内容はいわゆる局所解剖図譜とは全く異なり, 系統解剖学的な図やグラント独特の模式図とか変異・破格を示す図

が局所ごとにたくみに配置されている。また各図には適切な註のほかに, 観察すべき事項に関する説明文がついているのも特徴といえよう。

この「グラント解剖学図譜」第6版の日本語版が森田 茂・楠 豊和教授の共訳で出版された。訳文はおおむね正確で, こなれた日本語になっている。また訳者の細かな配慮が各所に行き届いている。例えば各図の引出線のタカリの解剖学名は日本名(細丸ゴシック体)と英語名(ボールド体)が見やすく併記されている。説明文の活字は註が9ポイント, 観察事項が8ポイントに統一されてい

る。英文索引の後ろにある和文索引は引きやすい完備した形になっている。

今回の日本語版によって, 各図の説明文(図によってはかなりの量がある)が和文で読めることになったので, グラント名著もさらに親しみやすいものとなり, 医学生や臨床医家のみならず, 看護学・薬学・体育学・人類学・美術解剖学・被服構成学などの分野の学生・研究者・実務家にとっても格好の座右の書となるであろう。

A4変型 頁610 図341 写真16 色図766
1977 ¥15,000 ㊦500 医学書院刊